

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年1月15日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年1月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【建屋内淡水化装置の制御空気用空気圧縮機(A)附属タンクの圧カスイッチ接点ずれについて】 建屋内淡水化装置の「制御空気用空気圧縮機(A)故障」警報が発生し、空気圧縮機(A)の過負荷による自動停止を確認。 空気圧縮機(A)付属タンクが設定圧力上限値に達した際に、圧カスイッチの接点が離れ圧力を開放するはずだったが、接点が離れず運転を継続し過負荷となった。 原因は、長期の運転により圧カスイッチの位置がずれてしまったと推定。 当該圧カスイッチの位置調整を行い、正常に運転することを確認。 念のため、当該圧カスイッチを交換予定。</p>	GⅢ	1月9日
2	<p>【既設多核種除去設備の高性能容器排水ラインのフランジ下部における水たまりの確認について】 既設多核種除去設備の堰内に水たまりがあり、高性能容器排水ラインのフランジから水が漏えいしていることを確認。 現場調査の結果、フランジ部に取り付けている漏えい防止カバーに破れが生じていたことから、水たまりは、カバー内に少量溜まっていた水が滴下したものと判断。 漏えいした水は堰内に留まっており、外部への影響はなし。 当該フランジについては増し締めを行い、漏えいが停止していることを確認後、漏えい防止カバーの取替を実施。 今後、類似箇所のフランジの緩み確認を実施予定。</p>	GⅢ	1月9日
3	<p>【2号機建屋滞留水水位計(2-R1(A))の指示値不良について】 2号機建屋滞留水水位計(2-R1(A))の指示が上昇し、10分程度で元の指示に復帰したことを確認。 水位計(2-R1(B))の指示は変動しておらず、現場も異常なし。 水位計(2-R1(A))が指示不良の為、水位計(2-R1(B))にて水位監視中。 今後、水位計(2-R1(A))を点検予定。</p>	GⅢ	1月13日